

まるりん通信



公益財団法人屋久島環境文化財団 TEL 0997-42-2911 FAX 0997-49-1018

第7回 自然・文化体験ツアー 屋久島感動めぐり

『秋を感じるエコツアー』 参加者募集

屋久島の秋を植物から感じてみよう！

- ◆日時：平成29年11月5日（日）
- ◆内容：秋の植物観察、レジンクラフト作成
- ◆参加費：1,500円（保険料、昼食含む）
- ◆対象：18歳以上
- ◆定員：20名
- ◆応募締切：10月25日（水）
- ◆お問合せ：研修センター
TEL 46-2900 担当：本間



講演会（第1回屋久島研究講座）

300年の眠りを超えて

『シドッチ神父、その生涯と屋久島』

講師 古居智子氏（作家）

開催日 11月24日（金）19:00～20:30

会場 屋久島環境文化村センター

参加費 無料

※ガイドの方で受講証明証が必要な方は前日までにご予約ください。一般の方の予約の必要はありません。

展覧会

よみがえる江戸の宣教師（ばてれん）

『シドッチ神父の遺骨の発見と復顔』

屋久島巡回展

国立科学博物館よりお借りする「シドッチ神父の復顔」「パネル」などを展示します。

期間 11月1日（水）～12月10日（日）

会場 文化村センター交流ホール

入館料 無料

平成29年度幼児環境教育推進事業

「屋久島こども森のあそび場」全5回参加者募集！

全5回開催で今年もスタートします！まずは、第1回目のご案内です。

第1回「自然の中で広がる子育て ～森のようちえんお話し会&体験会」

かごしま森のようちえん総合プロデューサーの市川さんをお招きして、近年話題になっている「森のようちえん」のお話し会と体験会を実施します。

開催日時：11月12日（日）9:30～13:00

参加費：1人50円（保険料）

定員：先着15組

募集開始：10月14日（土）※全5回受付開始

場所：研修センター7000年の森

対象：2歳以上の未就学児～小学校2年生までとその保護者

※詳しくは財団ホームページをご覧ください。

お問い合わせ・お申込み

研修センター TEL 46-2900

担当：福元（やっくん）

屋久島環境文化財団インストラクターの募集について

平成30年度採用のインストラクター（環境学習研修指導員）を募集します。

応募資格、応募方法など、詳細は財団ホームページをご覧ください。

募集期間 平成29年9月22日（金）～平成29年11月6日（月） 午前9時～午後5時

問い合わせ先 屋久島環境文化財団事務局（電話 0997-42-2911）

休館日

村センター 10月は無休 11月21日（火）

研修センター 10月16日（月）、23日（月）、30日（月）、11月6日（月）、13日（月）、27日（月）



～インストラクター便り～ 「台風に乗られて」

インストラクター 中島 奈美

屋久島は台風の通り道として、毎年多くの影響を受けます。8月の台風5号が去った後、島内で見慣れない鳥がいたと情報がありました。正体は「コアホウドリ」(写真)。北太平洋の大海原を飛び回り、日本では小笠原諸島の^{むこしま}聳島列島で毎年繁殖している鳥だそうです。なるほど納得、そういえば台風5号は小笠原近海で発生し、ゆっくりと西へ向かってきた迷走台風でした。おそらくコアホウドリはその台風の風に乗って、遠く離れた小笠原から1200km以上の旅をしてきたのだと思われます。また、9月の台風18号の後には、たくさんの「クロハラアジサシ」の群れが白い翼でひらひらと飛び回る光景を、屋久島のいたるところで見ることができました。彼らは渡りの途中で台風に巻き込まれたのでしょうか。通常は、これからの寒い季節を東南アジアやオーストラリア、果てはアフリカなどで過ごす鳥たちです。

野鳥の中には季節が巡る度、様々な場所を渡る種類があります。大体季節ごとの行き先やルートは決まっていますが、たまに思わぬ場所へ飛んでくることがあります。特に台風などの大風に流されてくることが多く、ときには滅多に見ることのできない外国の鳥がやってくることもあります。

毎年いくつもの台風が屋久島に接近し、私たちの生活に影響を及ぼしていますが、それは鳥たちにとっても同じことがいえます。旅の途中、思わぬトラブルで見知らぬ土地に立ち寄ることになった彼らが、少しでもゆっくりと羽を休めることができるよう、あたたかく見守ってきたいものです。



コアホウドリ
(写真提供：齊藤栄司様)

財団活動報告

◇株式会社伊藤園様 環境ボランティア活動

9月9日、株式会社伊藤園の社員の皆様が、財団ボランティアと合同で、白谷雲水峡にて環境ボランティア活動をおこないました。弥生杉近くの木道の手すりのコケ落としを行いました。蒸し暑い中の作業でしたが、参加者からは「汚れや苔がきれいに落ちた」との声が聞かれました。

株式会社伊藤園様は、平成24年度より「お〜いお茶」全飲料商品の売り上げの一部を当財団へ寄付していただいています。



◇秋のむらせん上映会

9月23日(土)、文化村センターにて、『SING』を上映しました。当日は、子ども達を中心に約450人の参加がありました。屋久島電工株式会社様より支援金をいただき地元住民の皆様方の福祉向上を目的とし、上映しています。

～ 屋久島を想う ～

総務企画課長補佐 長谷 聡士

屋久島環境文化財団に4月1日に赴任して、4月の暖かい陽気に誘われて4月2日にヤクスギランドへと山道を登り始めた。周囲が霧雨に包まれ出した。肌寒い程度でヤクスギランドの見学には支障はなかった。ヤクスギランドから紀元杉へ向かって、登り始めると、霧雨から雪、そして紀元杉の辺りでは吹雪となった。赴任して2日目で、海岸から山頂まで2千メートル近い標高差がある「海上アルプス」の島に住むことになったことを実感した時だった。

それから、半年になろうとしているが、白谷雲水峡の緑の苔や潤いに満ちた緑深い森、太鼓岩の雲海を見下ろす絶景を何回となく楽しみ、山の日に縄文杉周辺マナー指導で、縄文杉まで登ることができた。デッキの監視・誘導をまかされたことから、地元のガイドさんの縄文杉の説明を聞いたり、登山客の到達した達成感で疲れを一気に吹き飛ばしてくれる縄文杉との写真撮影を協力したりと、縄文杉のすばらしさを感じた。今度はこの感動を家族と一緒に感じるため登りたい。

